

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	スタッフが考え作成した理念は毎朝申し送り(朝礼)時に、会社の行動指針と一緒に唱和している。特に寄り添い明るく過ごせるお手伝いと健やかで穏やかな生活を送って頂けるよう介護実勢を行っている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常的ではないが、地域とのつながりが出来るよう、地域の方とコミュニケーションに努め、地域行事に参加し交流を図り、毎年理解の幅が広がっていると観ている。また事業所では認知症のご利用者様の理解を深める機会として、スタッフは毎月1回、全体ミーティングで利用者様全員のカンファレンスを実施しており、理解は深まっていると観ている。	年々地域との結びつきも多くなり、(結びつきを)大切にされていると思う。それにより利用者は社会との繋がりを持つことができ、地域の方々は認知症への理解を深めて頂く良いきっかけになっていると思われる。催しがある時は連絡を頂き、極力参加できている。自治会やサロン行事だけではなく、町への参加も考えてはどうだろうかと提案頂き、事業所としては積極的な参加を検討している。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	運営推進会議では利用者様の日常生活を画像とコメントにて報告。推進委員の方々からは地域役員の方へ連絡され、地域行事の参加に繋がり、毎年徐々に「行事参加の回数は多くなっており、サービス向上に活かしている。また意見を頂いた時は改善に向けて取り組んでいる。	推進会議では利用者様の日常の暮らしぶりを知る事ができ、推進委員の方々が施設の取り組みを地域の方々にお知らせすることで地域の安心につながっていると思われる。また会議であがった意見などはその後に活かされていると思う。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	市町村担当者とは、社全体と事業所とで連絡を取る事ができており、ケアサービスや取り組みを積極的に伝え、必要時には必ず協力頂ける関係にある。	積極的に取り組み、努力されている。必要時は協力し合える関係となっているが、市町村との接点がないため、状況把握ができていないとの提案もあり、今後どのような形で伝えていくのか要検討。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所は「身体拘束をしないケア」について、年2回以上の研修会、年4回の身体拘束排除適正委員会の実施ができており、実際に拘束している方は居られない。また新任研修でも初日に実施している。日常のミーティング時においても、本		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・拘束されている状況は見たことがない。利用者は皆のびのびと生活しているように見受けられる。徹底して取り組んで、守られていると思う。・職員の眼も行き届いていると思われる。*4点柵や安全ベルトも拘束とみなされるなか、病院でも同じよ

				人らしく自然に生活出来ているか、話し合っ 合って取り組んでいる。			うに取り組んでいますので、一緒に考えていき たいテーマです。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連 法について学ぶ機会を持ち、利用者の自 宅や事業所内での虐待が見過ごされるこ とがないよう注意を払い、防止に努めて いる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	社全体と事業所での研修会や委員会実 施にて、全職員が虐待の理解を深めるこ とができる機会を設けている。また職員 が虐待に走るような精神状況(ストレス)を ため込まないよう、相談や共有が出来て いる。日常においても見過ごされる状況 にならないよう注意を払い防止に努めて いる。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・虐待発生要因について、管理者による職員のス トレス管理、利用者尊重の職場環境作りが重要と 思います。・研修等がよく行われているように思 います。また職員同士のコミュニケーションにお いて気付きを表面化し対策され、定期的に職員へ面談 もされており、ストレス状況も把握するように努め られているようです。
7	権利擁護に関する 制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事 業や成年後見制度について学ぶ機会を 持ち、個々の必要性を関係者と話し合 い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自立支援事業や後見制度を利用するご 利用者様がおられず、学ぶ機会が極端 に少なく、年1回研修会を実施しており、 活用できるような理解には至っていない ため、もう少し研修会を増やす予定として いる。			
8	契約に関する説明 と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利 用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、 十分な説明を行い理解・納得を図ってい る	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時に契約者やご家族に十分な説明 と配慮を行こなっている、また不安や疑 問点は訊ねて頂けるよう、日ごろよりご 家族とはコミュニケーションを図ってい る。年1回は家族会を行い、アンケート実 施にて質問や提案をして頂ける機会を設 けている。			
9	運営に関する利用 者、家族等意見の 反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者 や職員ならびに外部者へ表せる機会を 設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月、ご家族に対し日常生活の報告とし て、状況報告書を画像添付で送付を行っ ている。また、年1回アンケートを実施し 定期的に意見、要望を表せる機会を設 け、反映できさせるように努めている。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・ご家族に画像添付した状況報告を毎月されて おり、ご家族・ご本人の安心に繋がると思われま す。・家族に対しても、事ある毎に声かけをして頂 き、要望等を聞いてもらっていると思います。意見 や要望が言いやすい開かれた施設だと思ってい ます。・ご利用者の入れ替えを考えるとアンケート 回数を増やす事で要望がより反映できるかと思 います。
10	運営に関する職員 意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員 の意見や提案を聞く機会を設け、反映さ せている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な面談が実施し、管理者やホー ム長が現場の状況把握や問題点を把握 する事が出来、代表者へ連絡し、関係各 所で話し合い、用途に応じ反映させてい			

				る。また職員が意見や提案をしやすく働きやすい環境づくりに努めている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	人材不足ではあるものの、職員が自己成長し働きやすい就業環境に努めている。また勤務状況を把握し、改善、調整を行い、各職員に合った就労が出来るように代表者や管理者は努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・人材不足の中で職員さんの就業環境の改善に努めておられるとのことで、就業環境の整備が出来ていると思われます。・家族からすると、人材不足であっても、職員の方の顔ぶれが大きく変わる事がなく、明るい表情から、利用者が不安になることもなく生活出来ているように見受け、働きやすい職場環境であることが察せられる。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	内部では毎月の研修会実施、また職員間でも自分達で勉強したい項目を相談しながら、ミニ研修会として数名のスタッフでチームを組んで実施している。一人ひとりのケアの実際や力量は把握できており、外部研修受講する機会も設けている。また職員一人ひとりの個性の理解、個々の力量を把握しケアの向上に繋がるよう努めている。		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・入居者・利用者の皆さんの生活の質を上げるために、職員さん方の成長は必須を思われます。職員教育にきちんと取り組まれているようです。・外国人職員もおられ細かい気配りができているので、日常的に介護のみならず、日々の暮らしについてもご指導があるのではないかと思います。・「A. 十分にできている」と自己評価するのはかなり困難だろうと考えます。より一層の取り組みを進められるよう願います。さらなる努力を期待したい。勉強会や会議など開催されており、教育もきちんとされていると思います。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	同一法人内で他事業所との研修会、地区行事への合同参加交流、地域のネットワーク会議(研修会)などで、サービス質の向上させていく取り組みの機会としている。			
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者様が穏やかな生活が送れるよう、職員が間に入る形で、利用者同士の交流ができる様に支援している。また、職員は単に介護をしていると意識ではなく、共同生活をしていると捉え本人が出来る事は自分で行えるよう、利用様に応じた支援を行い、信頼関係構築に努めている。(例: 洗い物、洗濯物干し等)			

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>コロナ禍が落ち着き、家族面会を以前より更に緩和。また外出外食も感染対策を基本に以前より多く取り入れている。家族と同伴であれば、以前交流があった方との面会を実施している。馴染みの場所としては月1回程度の外出行事など取り入れている。</p>	<p>全体的に取り組みされています。以前交流があった方との面会も増えていて、家族以外の面会もしやすくなったと利用者様の家族からの話もあり、定期的に外出も設け、馴染みの場所との関係に努めてある。環境が整ってきたことは大変喜ばしいと思います。利用者様の負担にならない程度の感染対策を行い、今後も継続してもらいたい。面会緩和は利用者様方の健康に大きく寄与されていると思われまます。</p>		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>可能な限り個別支援対応に努め、本人のペースで過ごしてもらっている。過ごし方ではコミュニケーションを図り、思い希望の聴き取りが出来た時は職員間で話し合い、対応を行っている。</p>			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. できていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>毎月全体ミーティングにて全職員で(本人、家族、関係各所へ)全利用者様のモニタリングを実施。サービス内容の確認や意見、問題点、改善点など話し合い評価し、プランへ反映されている。</p>	<p>認知症が進んでいく中で、問題点、改善点を早期に発見して対応して頂いていると思う。毎月全職員で全利用者のモニタリングを実施されており、現状に即した介護計画が作成されていると思われまますので、今後も継続して頂きたい。</p>	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・利用者の日頃の様子や問題点をよく報告していただき、相談や意見交換が出来ている。要介護状態の方々の生活の質を上げる事は大変だと思いますが、チームで介護計画を立てられ、利用者の方々にプラスになっていると思われまます。・利用者の変化に合わせて対応して頂いていると思われる。性格や状態の違う利用者各々にその時にあった対応をされていると思います。</p> <p>・個々の利用者のことをよく把握して、介護されていると思っています。大切なことなので今後も現場で十分に活かされるよう、常に努力を期待します。長く利用されている方ほど、新たなニーズを意識してモニタリングされる良いと思います。</p>
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>朝礼やケース記録、連絡(申し送り)ノートを活用し、利用者の様子を共有出来、見直しや実践にて提供できている。記録については、時間がなく簡略化されている時もある。</p>		<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・記録は簡略化されていても、しっかりと残されることが大切です、職員間での共有がしっかりとなされているようです。・情報共有するために書面にして職員間で活用されていると思いますが、書くことに目を向け過ぎないことを望みます。</p>

19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	その時々、多職種職員間で相談し、提案については数日試し提供を実施⇒評価⇒実践するか、別案か細部修正を行い再実践するなどの対応を行っている。	利用者様一人ひとりのことはよく考えられており、個別ニーズにもよく対応されていると思います。提案についても、実践⇒評価⇒実践⇒再実践と一人ひとりを支える取り組みができています。		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている A. 十分にできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域資源を把握し、心身に安全で充実した暮らしや楽しみ事ができるよう、活発的な地域資源の活用や協働が実施できるよう努めている。より把握できるよう活動に努めたい。	情報収集に努められ、地域資源の把握、活用については、良く出来ていると感心しました。また地域資源を把握し活用することが、利用者様方の生活の質向上に繋がると考えられます。(地域資源の具体的な内容をおしえてほしい、地域資源が何をされているのかよくわかりませんとの意見もあり、別紙にて説明行う)		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人及び家族様の意向を大切にすため、かかりつけ医や必要時の他院への受診はご家族やかかりつけ医と相談し、適切な医療が受けられるよう支援している。また入所前に協力医療機関やかかりつけ医の説明を行い、納得頂いて入所されている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者が入院された際は、入院された医療機関やご家族と定期的に情報交換や相談を行い、退院後に利用者が依然と変わらない生活するための話し合いを重ねている。また「病状報告及び退院時支援委員会」開催時にはご家族とご一緒にまたは、事業所のみで出席する場合もある。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		・病院との連携があり、安心して治療でき、また退院後は日常生活にスムーズに戻れるよう準備されていると思います。・病院としっかり連携をとられてあり、家族・本人ともに安心できる環境がとられます。・施設・病院・かかりつけ薬局の連携で日々の体調変化に早期に対応されていると思います。*協力医療機関より「症状が出たら早めの受診をお願いします。病院としても往診医師との連携もとれていると思っています。連携室としても協力できることがあれば行っていきます。
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている A. 十分にできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所契約時に、看取りや延命処置当の説明、及び意思確認を行い、本人の状態により地域関係者も含め適宜共有出来ている。必要時(体調不良や身体に変化があった時)に都度話し合いの機会を設けている。	<input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている A. 十分にできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		・重要で難しい問題だと思えますが、努力してほしいと思います。・対応される事例が増えることでより充実してくると思います。・家族としても入所時に説明を受け、意思確認できている。・デリケートな問題で100%と言うのは難しいと思うが、取り組みは大事な事だと思えます。*家族や本人にとっても大切な事だと思えます。協力病院としても、情報提供できることがあれば、お知らせ下さい。

24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	事業所ではオンコール体制を図っており、急変時や事故発生時、また変化時はオンコールへ連絡あり、初期対応や応急手当が実施できている。また毎月の研修会で「緊急時の対応や事故発生時の対応、初動、応急手当など」実施し、実践力を身に着けるよう努めているが、いざと言う時は焦りがあるため、オンコール対応実施している。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	年2回の災害時訓練(令和6年度は火災・水害想定)を実施している。また定期的な研修で「災害時対応」については毎年行い、学ぶ機会を設けている。実際の現場では落ち着いて行動が出来るよう、各職員・各部署での連携が重要と考えている。	地域との協力体制という意味では、長瀬自治会の役員と協議の場があればいいと思う、また利用者様の家族に見学案内をされてはどうか、見学できると認知症の利用者様をどのように誘導して訓練を行っているのか知る事ができ、安心材料になると思うとの意見あり。(事業所としては、今後訓練においては、地域自治会や役員の方へ発信だけではなく、関係各所へ実施参加の声掛けを行っていく方向で検討)。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・地域との協力体制は出来ていると思う。・認知症の利用者様が災害等をどの程度理解できているかわかりませんが、パニックにならないように誘導するなど難しい点も多いと思われます。そのためにも訓練は色々想定をして実施することが良いと思われます。・取り組みを継続して下さい。・利用者は素早い動きが出来ない高齢者ばかりなので、実際の災害時に戸惑ったりケガをしたりすることがないように、日頃から意識して頂く事を望む。
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期研修会で「法令遵守」「プライバシー・個人情報保護」について実施しており、日々の業務で実践できている。人格尊重、声掛けには特に力を入れ対応を行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	・必要以上に子供扱いする言葉遣いなどはないように思う。プライバシーは尊重してもらっているが、認知症の程度によっては暴言で返す利用者もいるので、優しく接するばかりではいけない場合もあると思われる。・守られて当然のものですが、日々の業務でも実践されており、人格尊重の声掛けに特に力を入れておられることが非常に良いと思います。・虐待に近い内容で難しいテーマだと思います。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご利用者様が安心して穏やかな生活を過ごせるよう、その時々々の生活に対する動きに見守りや介助を行い、本人様の暮らしのペース(リズム)を大切にできるよう配慮し努めている。			

28	食事を楽しむこと のできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事は楽しみなものとして、利用者様の好みや力を活かしている(摂取状況や希望、体調に合わせて、食事形態を変更)。準備や片付けも職員と一緒に出来ることを行っている。	/	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・デザート(おやつ)など研究されていていいですね。時々、試食でいただき馳走様です。・生活の場と考えると、調理や片付けも生活の一部として重要と思います。・食事は生きる為に必要な行為ですが、それ以上に楽しみながら食べるというのは大事で笑顔にしてくれると思います。・食事が楽しみであることは大切です。季節の物や行事に関係した物など、積極的に取り組まれていると思います。・出来る範囲で片付けなどさせてもらっている。毎月の行事食やおやつも工夫され、見た目もきれいで美味しくありがたいと思う。それとは別に利用者が食べることに興味を最近少し減っているような気がする。</p>
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	水分は毎回計量し提供している。量やバランスも希望や身体状況に応じて、変更や調整を行い支援できている。水分摂取が少ない利用者様に対しては、少ない量で摂取する回数を増やしたり、ご家族と相談して、本人さまが好まれる飲料を準備頂き摂取に繋げている。	/	/	/
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	週1回歯科往診にて歯科医及び衛生士に口腔ケアや義歯調整、かみ合わせなど、口腔内状況把握を実施。歯科医指示にて指導あった場合は職員が仕上げ磨きを毎回行い、現在はお利用者のほとんどに仕上げ磨きを実施しており、口腔内衛生が保たれていると歯科医より話し頂いている。また食事前には毎回口腔体操を実施。皆さんほぼ参加されている。今後も現状維持に努め、ご利用者様の誤嚥性肺炎予防に努めたい。	/	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・家族として毎週の歯科往診はたいへんありがたい。入れ歯の調子なども細かく見ていただき、管理が出来てるので助かっている。口から物を食することは健康を保つうえで大切なことなので、口腔内の衛生を保つことはとても重要であると思います。今後も継続して下さい。・口腔ケアや歯は汚れや口臭予防、食べる事にも必要ですが、一番は肺炎予防に大切な事として取り組んでほしいと思います。・週1回の歯科往診と職員さん方の関わりをとされており、利用者さん方の口腔内衛生にも力を入れておられ、衛生が保たれているようです。</p>
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	自立に向けた排泄支援を基本とし、排泄チェック表を毎日実施。排泄リズムが崩れているご利用者様は定期的に誘導を行っている。便秘予防には内服薬服用の利用者様もおられるが、毎日30分以上	/	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・自立排泄が一番です。その為には周囲の努力が必要です。・トイレでの排泄(オムツ外し)を目標に取り組まれているとのことなので、研修会などに参加し、成功例を取り入れて下さい。・排泄に関しては人間の尊厳にかかわることなので、特に注意してほしいと思います。トイレで排泄できるように付</p>

				<p>は体を動かす機会として全身を使用できる体操や排便体操を行っている。</p> <p>年々、ご利用様は排泄に対して、汚染やいじりなどの失敗はあるものの、トイレで排泄できるよう付添いや介助を実施している。</p>			<p>き添いや介護を実践されているようです。・個別に排泄の自立に取り組まれている様なので大変だと思います。食事や排泄は健康管理にも大切な事なので、継続して頂きたいです。・小まめにトイレへの声掛けをしてもらっている。出来るだけオムツに頼らずに、自分でトイレに行けるようになってほしい。</p>
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>曜日固定せず、ご利用様の体調や状況にあわせ入浴を実施し、気持ちよく過ごせる時間となるよう、体調考慮しながら入浴頂いているが、近頃は病状進行もあり、入浴時や入浴直後は「気持ちよかった」と言われるも入浴したことを覚えていない方が多くなられ、「入っていない」「入ったことがない」と言われることも多い。入浴時は皆さん気持ちよく入浴され、入浴前後に拒否での暴言暴力はない。</p>			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>すべてのご利用者様にご自分のペースで生活して頂き、夜間は良眠に繋がるよう、職員は見守りや体操、レクリエーション、一緒に行える日常生活支援の声掛け、動きの制限行わず、ゆっくりした時間となるような環境作りに努めし、体操などの参加に対し強要は行っていないが、参加しようと言う気持ちになって頂くような声かけや雰囲気作り配慮を行っている。</p>			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>週1回、薬剤師による居宅療養管理指導を受けており、いつでの相談できる状況にある。また用途や副作用など、必要時には処方時に主治医より説明を受け、用法や用量について職員は理解でき服薬支援が出来ている。ご家族にも追加薬などがあつた場合は、職員にて連絡を行い、ご家族にご理解いただいている。</p>		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	<p>・薬の管理、服用支援をしてもらい、大変ありがたい。臨時の投薬などあつた際にも小まめに連絡をもらっている。・利用者の様子をみながら、主治医や薬剤師等の指導も受けながら、服薬調整が行われていると思う。・ヒヤリハットが1件でも減少するようにお願いします。・認知症の方はお薬を飲み込むまで注意をはらってあるようで、きちんと管理されていると思っています。・毎週、薬剤師の管理を受けられており、とても力を入れてあると感じます。</p>

	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	利用者様の生活歴や性格を活かした役割、嗜好品、楽しみごとを見つけて、各利用者様に気分転換や張り合いに繋がるよう、出来ることを行って頂けるよう支援してる。行って頂いた時はお礼や労いの言葉をそえるよう職員は周知出来ている。嗜好品については、ドリップコーヒーを好まれるご利用者様には、見守り付添いにて対応いただいている。	利用者にとって出来ないことが増えていく中で、生活における細やかな楽しみや役に立っているという実感は大切なことであると思われる。またお礼や労いの言葉をいただくことは、喜びに直結しますので、これからも役割、楽しみでの支援が充分になされればと思います。利用者各々にあった支援をしていただいていると思う。今後も継続をお願いしたい。とても良い試みなので、具体的な内容を知りたい。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常的には四季を通して天気の良い日は施設周辺に散歩に出かけ、気候が良くなるとテラスや外にテーブルを出しておやつを食し、季節感を感じて頂ける時間を設けている。月行事として、外出レクリエーションを企画して実施している。また定期的に地域サロンへ参加させていただき、家族や地域の方々の協力を得ながら外出支援が出来ている。地域の方々と交流は年々増えている。	推進会議での行事实施報告や写真などで状況がよくわかり、みなさんとても楽しそうに笑顔なので、今後も大変でしょうが感染対策に留意しながら継続して頂きたいです。認知症の方は暑さ寒さをあまり感じなくなるので、戸外へ出ることで刺激になってよいと思う。また限られた人員の中で利用者様の方の希望に添う事は難しい時もあると思われませんが、希望に添えるよう色々工夫をされている様子が伺えます。
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	外出時は必ず個別に金銭を所持し、職員付き添いにて、物品購入を行いご自身で選んだ物の購入、支払う・釣銭をもらうと言う一連の流れを体感して頂ける支援を行っている。今年は認知面の低下の方が増え、トラブル防止のため、必ずスタッフ付添いで購入の一連の流れの支援を行っている。お金の認識がないご利用者様も居られる。	
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	タブレットや携帯を持参されている利用者様もおられ、タブレットで送信されてきた写真を見て楽しまれてもいる。操作がわからない時は支援している。手紙を書く事のレクリエーション企画で実施するも実現には繋がらず字を書けなくなっておられる方も多くある。	

39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	季節に応じた壁紙作成や毎日利用者様に日付をかえて頂く、カレンダーを使用している。またフロアにはソファがあり、自由に使用できつろげるような空間作りが出来、新聞を読まれたり、テレビ視聴されたり、お茶を飲まれたりと思いに居心地よく過ごされている。夜間は自分達で決められた時間までテレビ視聴される方も数名おられるも、チャンネル争いになったりすることはなく、寛ぎの時間となってある様子。食事をするテーブル席も定期的に席替えを行い、席には氏名記入しているカードを置いているため、混乱はない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・共同生活の場でありつつ、個々のライフスタイルが持てるよう工夫されていると思います。混乱を招かないよう工夫されているようです。・リラックスして過ごせる環境づくりに取り組まれているようです。席に氏名カードを置かれていることで、利用者の方の安心にも繋がっていると思われます。氏名カードがあるだけで、そこが自分の居場所であると自分にも他人にも知らせることができる。・グループホームはその人の家と同じなので、くつろげる空間は大事です。例えば、病院に入院中は落ち着かない方も「退院して施設へ帰りたい」と言われたり、退院したら落ち着いたというケースもあり、利用者は帰る場所と感ずることがよくあります。・自室に引き籠ることなく、共有スペースでスタッフや他の利用者様との接点を持つ工夫がされている。
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の思いや願いは口にされており、傾聴し実現可能な事は実施している。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活歴や友人関係、暮らしの習慣など様々な情報はアセスメントや家族聴き取りなどで事業所周知でき、それに伴いケアや支援を行っているが、友人関係では家族から連絡があった方や家族へ確認を行い面会頂いている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は健康・医療・安全・環境に配慮し、日々の状況把握が行え、安心して頂けるような声掛けや環境作りに配慮した支援に努めている。健康・医療などの体調面では変化があれば、迅速に対応行い悪化防止に努めている。また状況により直		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・体調の細やかな変化もよく見て頂き、必要なケア・支援を受けられている。医療機関との連携もよく、家族への連絡もしっかりされている。・日々の生活状況に配慮をして頂いていると思います。・本人の訴えがなくても、職員が普段の状況把握ため、健康管理が出来ているのではないのでしょうか。・大変ですが、今後も継続して下さい。・健

				接、協力医療機関へ相談も行い主治医の指示を仰ぐこともできている。			康チェック、様子観察で安心できる生活になってい ると思います。・医療連携の配慮もできて、安心感 があるようです。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活状況を家族へ伝え、希望要望を聞き取り、共通理解も含め支援を行っている。日常支援の中で、自分のペースでこれまでの習慣が更に理解できた場合は、職員間で周知し実践している。事例としては、洗濯物干しや取り込みなど本を読む、コーヒーを淹れる、お茶菓子食す、歩行器歩行を実施するなど。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ラジオやタブレット、本など馴染みの物、通話はしていないが携帯電話、帽子、家族写真など大切にしているものを身近に持つことが出来ている。馴染みの物でも貴重品の持ち込みがトラブルに繋がるものは持ち込みされていない。		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・共同生活とプライベートの両立に取り組まれていると思います。・忘れられない思い出もあります。ありがたいことです。馴染みのものや大切なものを身近に置くだけでも精神面での拠り所になると思います。・昔のことはよく憶えていると聞きます。昔を思い出すアイテムはその人にとって、目につく場所にあるのは大切だと思います。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	天気が良い日は屋外へ散歩に出かけたり、施設内でも合同で催(クリスマス会、夏祭り、正月や運動会)に参加することが出来ている。戸外へ出かける意向や希望はないが、自宅に帰りたいと時々言われる方は家族了承にて帰宅して頂くことの支援を行っている。また以前より自宅へ帰るご利用様が徐々に増えている。	・環境が良かったら思い出す機会が多いでしょうね。難しいですね。・家族の受入れ体制との兼ね合いがあると思うが、増加しているのは好ましいことではないか。・施設内で催される行事に参加することで小さなコミュニティであっても、周りの人と話をする、何かを行うなど皆でと言う協調性を少しでも感じることが出来ていると思う。また一般日常に近づけることは良いことと思います。利用者様方の希望・意向に沿えるよう色々と工夫されているようです。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者様は出来る事・できないことなどの職員周知が出来ており、その中で出来ることを見つけ、提供を試みている。また役割や楽しみごとに繋がるよう、職員も観察を行いながら、利用者様ができることの幅が広がるよう支援を行っている。			

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	現役の頃の話しを聞き、日常生活に活かせるような場面を作り、また職員が間に入り、利用者様同士のコミュニケーションを楽しめるよう支援しているも、会話が成立しないことも多くなってきている。日常生活の家事などの活動を皆で行うことにより会話が活気ある時間となっていると見受けられる。	/	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家族として以前に比べて活力が衰えてきたように思う。手伝いを億劫がることのあるようす。またコミュニケーションが上手に取れなくなってきている中で、トラブルなく過ごしていると思う。・利用者同士のコミュニケーションがどの程度できているか興味がある。・居場所作りを続ける事で会話が成立しなくても、イキイキと過ごせる場が出ていくと思う。・日常生活の波がある中、活動が大変だと思う。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	出来る範囲での近隣交流や地域の人々と関わり、交流を行うことができ、近隣や地域の方々も催し日程をおしえていただき、昨年(令和5年)より随分交流が増え、施設でのサービス提供では味わうことができない行事に参加することができ、楽しみや回想時間となっている。	・楽しみや回想時間を持つことができ、そのことで本人が持つ力の活用に繋がっていると思われる。今後も継続してもらいたい。・慣れ親しんだ職員の方とばかりでなく地域の人々との交流は良い刺激になると思う。また地域の方々にとっても認知層への理解が深まる良い機会であると思われる。・今後も連絡を取り合って可能な行事には参加していきたい。・よく交流が出来ていると思われます。	/	/
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくるができている	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域の人々との交流や外出での外食や他事業所へ行きイベントや地域行事へ参加した時は緊張した表情や楽しそうな表情があるも、自分達が生活している事業所へ帰ってくると安堵した表情になられ、自分達が生活しているホームが当たり前の場所と認識されているのが理解できる。認知症の進行はあるものの、入院して退院して来られた時もその表情が伺える。	・利用者様が心安らかな日々を送っておられる様子が伺える。・安心できる場所で穏やかに生活出来る事ことで、心の安定を保つことが出来ていると思う。・各種催し物や活動企画や個別ニーズに合わせたケアの実践など、質の高いサービスが提供されていると思います。・入所されている方にとっての安心はとても大事だと思う。そういう場所や環境を提供され、入所されている方のことを考えてある職員の方は大変だと思いますが、素晴らしいと思います。・非日常的な体験で少しの緊張は良いことではないでしょうか。・利用者様方が安堵の表情を浮かべられるということが、何よりよい生活の場になっているからだろうと思われれます。	A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・日頃、身綺麗にされてあり活動が出来ているな一という印象を受けています。・本人が安心と安らぎを持って、日々生活が出来ていることが一番大切だと思います。認知症があっても本人は良くわからなくても、笑顔の多い環境は進行予防にもつながると思います。・ご利用者にとってはグループホームが生活の場という感覚を持っているかはとても重要だと思います。当たり前の場所で当たり前の生活を今後も実現して行って下さい。利用者の表情が全てを物語っていると思います。何もすることがなく、一日をボーッと過ごすことは苦痛を伴うものだと思います。職員の方の頑張り皆さんの幸せにつながっているのだと思います。いつもお疲れ様です、ありがとうございます。・自分のホームと感じられるのはとても素晴らしい。・独居の方と対比してみると大変幸せな老後を送っておられるのではないかとホームを訪問するたびに感じます。毎日、周囲に見慣れた人が居て、皆で何かできるだけで幸せであろうと感じます。

